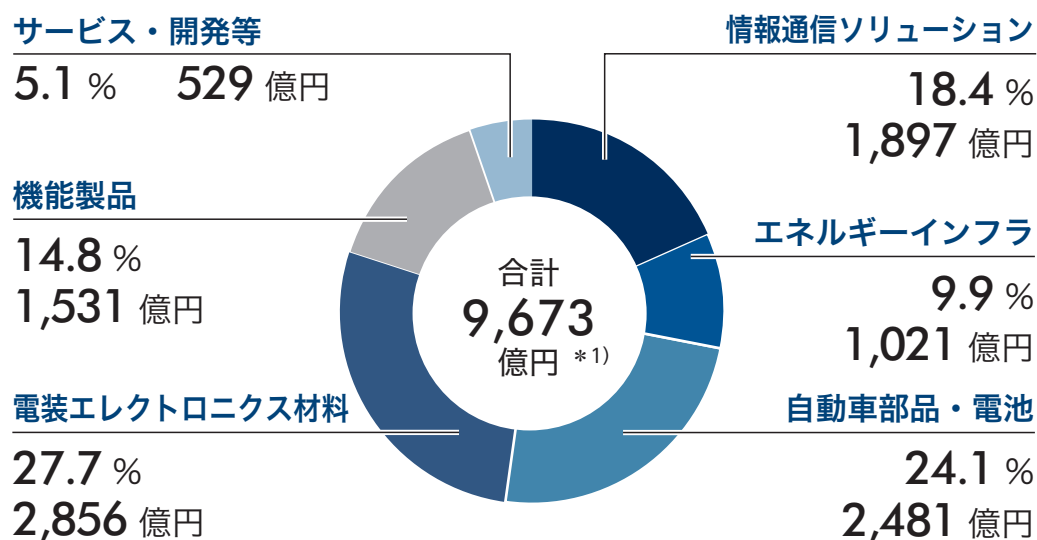


セグメント別売上高構成比率 (連結 2018年3月期)



*1) セグメント間の内部売上高および振替高を相殺消去した数値です。

■ 売上高

(億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
インフラ	—	—	2,527	2,638	2,918
情報通信ソリューション	—	—	1,591	1,685	1,897
エネルギーインフラ	—	—	935	953	1,021
電装エレクトロニクス	—	—	4,911	4,555	5,338
自動車部品・電池	—	—	2,341	2,234	2,481
電装エレクトロニクス材料	—	—	2,570	2,321	2,856
機能製品	—	—	1,363	1,315	1,531
サービス・開発等	—	—	515	497	529
調整額	—	—	-567	-570	-643
合計	9,318	8,678	8,749	8,433	9,673

■ 営業利益

(億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
インフラ	—	—	77	143	128
情報通信ソリューション	—	—	80	142	141
エネルギーインフラ	—	—	-3	1	-14
電装エレクトロニクス	—	—	105	128	182
自動車部品・電池	—	—	80	101	132
電装エレクトロニクス材料	—	—	24	27	50
機能製品	—	—	85	117	140
サービス・開発等	—	—	4	-1	-2
調整額	—	—	1	-0	1
合計	255	179	271	386	448

■ 売上高営業利益率

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
インフラ	—	—	3.1%	5.4%	4.4%
情報通信ソリューション	—	—	5.0%	8.4%	7.4%
エネルギーインフラ	—	—	-0.3%	0.2%	-1.3%
電装エレクトロニクス	—	—	2.1%	2.8%	3.4%
自動車部品・電池	—	—	3.4%	4.5%	5.3%
電装エレクトロニクス材料	—	—	1.0%	1.2%	1.8%
機能製品	—	—	6.2%	8.9%	9.1%
サービス・開発等	—	—	0.8%	-0.3%	-0.4%
調整額	—	—	-0.1%	0.1%	-0.1%
合計	2.7%	2.1%	3.1%	4.6%	4.6%

情報通信ソリューション

事業部門

ファイバ・ケーブル、ファイテル製品
ブロードバンドソリューション

2017年度 決算

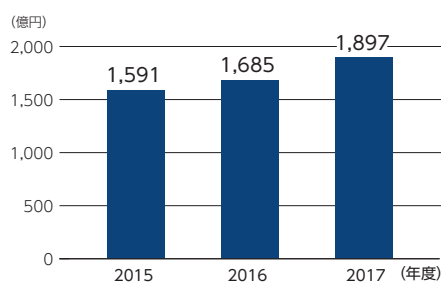
連結売上高 1,897億円 (前期比12.6%増)

連結営業損益 141億円 (前期比0.5%減)

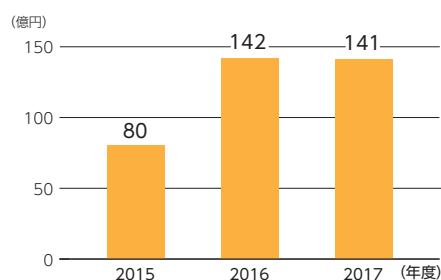
情報通信ソリューション事業では、中国市場での在庫調整が続きデジタルコヒーレント関連製品の売上数量が落ち込んだものの、世界的に光ファイバ・ケーブル需要が旺盛であったことに加え、国内でのネットワークシステム関連の工事、機器の販売が好調に推移しました。

また、昨年9月に光ファイバの製造能力を2019年度までに2016年度比約2倍に強化するための増産投資を決定しました。世界的な需要増に対応できる生産・供給体制を構築し、グローバル市場での販売拡大を推進していきます。

売上高の推移



営業利益の推移



2017年度 主なトピックス

- 12月 ▶メキシコに情報通信向けソリューション製品の製造拠点を新設
～北米拠点が提供する高付加価値品を補完～



- 1月 ▶米コムスコープ社と光ファイバに関する長期契約を締結
～急増するデータ通信の需要に対応～

- 2月 ▶「大河内記念生産賞」を受賞
～大容量デジタルコヒーレント光通信システム用波長可変レーザモジュールの開発～



エネルギーインフラ

事業部門

電力、産業電線・機器

2017年度 決算

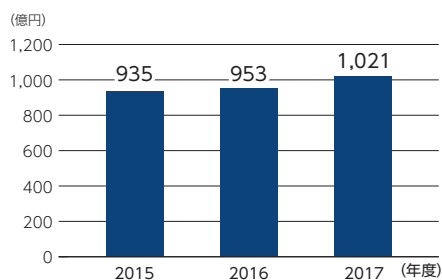
連結売上高 1,021 億円 (前期比7.2%増)

連結営業損益 -14 億円 (前期比15億円減)

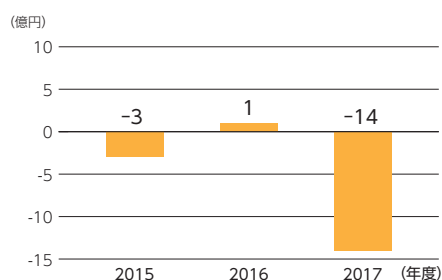
エネルギーインフラ事業では、国内電力工事の大型案件などがあったものの、地中送電線の輸出案件における低採算品の構成比増等が利益を圧迫しました。

人材の確保を含めた工事施工能力の増強と、技術開発および設備投資による製造力強化を行うことで、国内を含めたアジア市場での超高圧線・海底線の案件受注を積み重ねてまいります。

売上高の推移



営業利益の推移



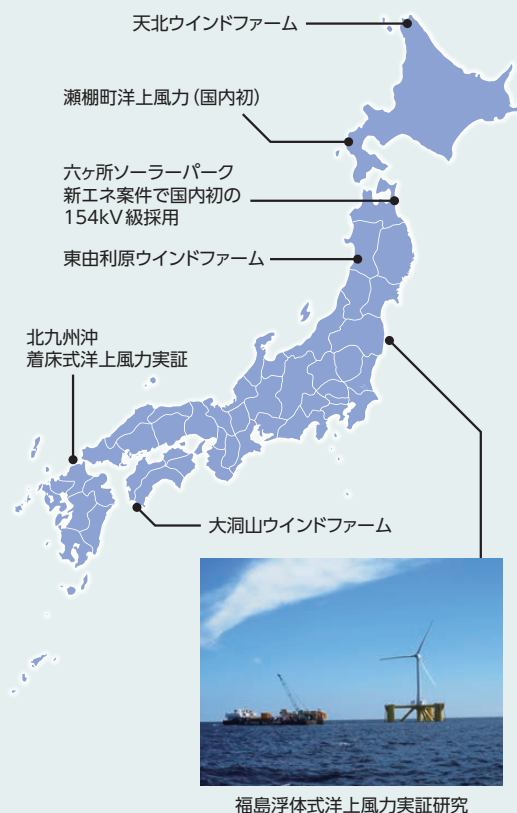
2017年度 主なトピックス

4月

▶羽田事業場を開設しました



国内随一の新エネルギー案件納入実績を活かし、これからの社会の脱炭素化に貢献してまいります。



自動車部品・電池

事業部門

自動車部品、電池

■ 2017年度 決算

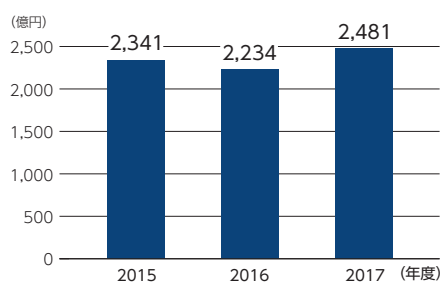
連結売上高 2,481 億円 (前期比 11.1% 増)

連結営業損益 132 億円 (前期比 31.2% 増)

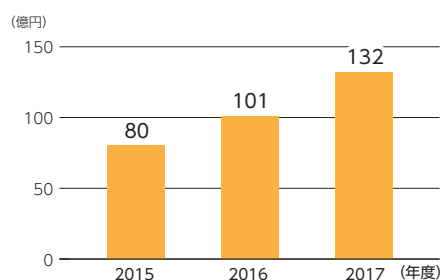
自動車部品事業においては、一昨年4月の熊本地震などの影響による国内需要低迷から回復したことに加え、新車種向けワイヤハーネスの売上が増加しました。

東南アジアの生産拠点を活用するなど最適地生産化を進めコスト競争力の向上を図るとともに、軽量化ニーズに応えるアルミワイヤハーネスの生産体制を強化していきます。

売上高の推移



営業利益の推移



2017年度 主なトピックス

8月

- ▶ 世界最高峰の二輪ロードレース世界選手権のオフィシャルチームスポンサーに決定
～モータースポーツの発展に貢献～



Movistar Yamaha MotoGP チーム

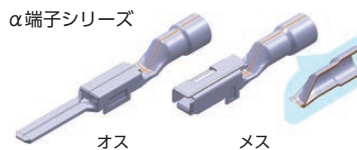
1月

- ▶ 「α端子シリーズ」の世界的な普及に向け、自動切断圧着機の販売を開始
～ワイヤハーネスのアルミ化を加速し、自動車のグリーン化に貢献～

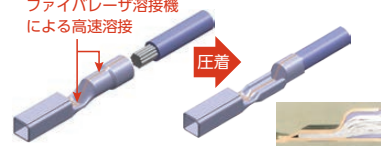


自動切断圧着機

α端子シリーズ



α端子

ファイバレーザ溶接機
による高速溶接

今後、α端子シリーズの対象を四輪に加えて二輪にも拡大していくとともに、この自動切断圧着機をアジア、欧米などでも順次、販売を開始し、「α端子シリーズ」の世界的な普及を促すことで、「銅電線ワイヤハーネスからアルミ電線ワイヤハーネスへの転換をさらに加速させ、自動車のグリーン化に貢献してまいります。

電装エレクトロニクス材料

事業部門

導電材、巻線、銅条・高機能材、銅管

2017年度 決算

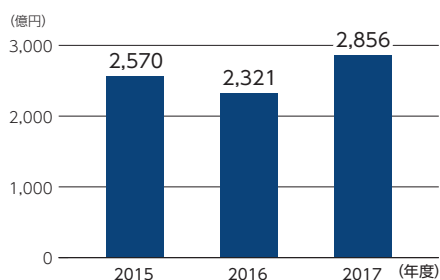
連結売上高 2,856 億円 (前期比 23.1% 増)

連結営業損益 50 億円 (前期比 83.2% 増)

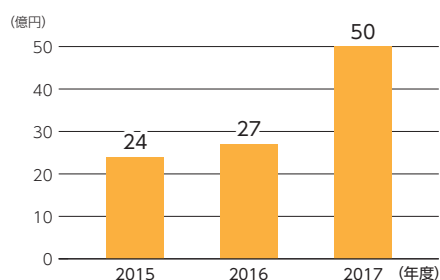
銅条・高機能材事業において、品種構成の見直しによる利益率の改善や、生産性の改善による増産で旺盛な需要を取り込んだこと、巻線事業における自動車やスマートフォン用製品の販売増加などから、業績が好調に推移しました。

巻線事業では、従来から行っている Superior Essex Inc. (米国) グループとの協業をさらに推進し、高機能巻線市場において欧州をはじめとする自動車電動化需要を着実に取り込んでまいります。

売上高の推移



営業利益の推移



2017年度 主なトピックス

4月

▶ 耐熱性に優れた無酸素銅条を開発

～独自の組織制御により、世界トップレベルの耐熱性を実現～

12月

▶ Essex Furukawa Magnet Wire Europe 社の開所式を開催

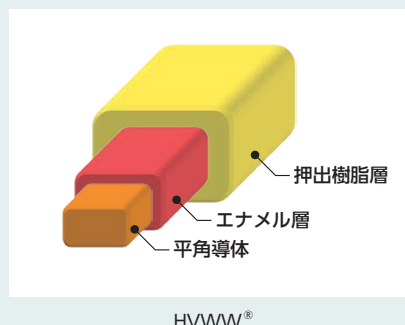


左より、伊勢 (Essex Furukawa Magnet Wire Europe 共同代表社長)、小林 (当社社長)、Frédéric Weishaar (Essex Europe 社長)、柴田 (当社会長)、Brian Bongsoo Kim (Superior Essex 社長)、Wilfried Von der Heide (Essex Furukawa Magnet Wire Europe 共同代表社長)

3月

▶ 耐高電圧平角巻線で Innovation Award 最優秀賞を受賞

～欧州製自動車の電動化にも寄与～



機能製品

事業部門

AT・機能樹脂、サーマル・電子部品、メモリーディスク、銅箔

■ 2017年度 決算

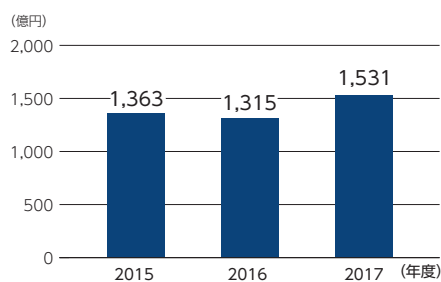
連結売上高 1,531億円 (前期比16.4%増)

連結営業損益 140億円 (前期比19.8%増)

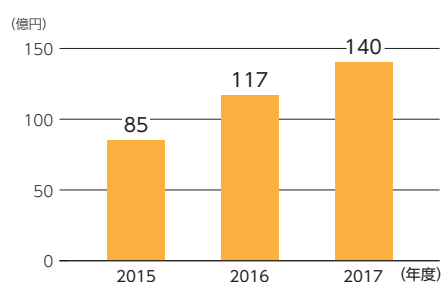
銅箔事業において、生産性の向上により旺盛な需要を取り込んだことに加え、品種構成見直しにより利益率が改善しました。日本・台湾の製造・販売拠点の一体運営を進め、最適な機能分担を行うとともに、高機能箔へ経営資源を配分することで、安定的に収益を確保できる体制を構築してまいります。

サーマル・電子部品事業においては、データセンター向け放熱製品の販売が堅調に推移しました。また、AT・機能樹脂事業では、地中埋設用ケーブル保護管など、電柱・電線の地中埋設化に貢献する製品の販売を拡大していきます。

売上高の推移



営業利益の推移



2017年度 主なトピックス

5月

▶無電柱化に貢献、地中埋設用ケーブル保護管「角型エフレックス」を発売開始

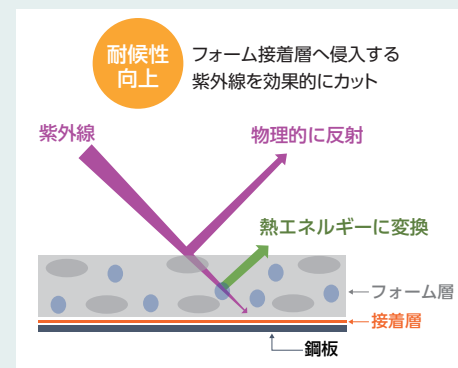
～コンパクトな多条配管用最適管でコスト削減を実現～



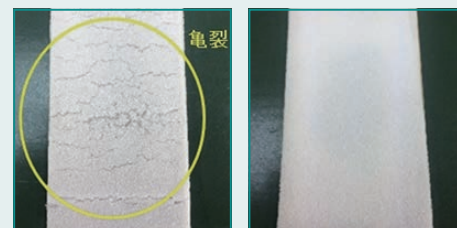
11月

▶耐候性を向上させたノンフィルム型のフォーム材「タイコウエース®」を開発

～カーポートやガレージ等の金属屋根の結露抑制に貢献～



紫外線促進試験



当社従来品

タイコウエース